

令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立桃谷高等学校
校長名	真田 誠

開催日時	令和7年 12月 12日(金) 14:00 ~ 15:30
開催場所	府立桃谷高等学校 多目的教室 I
出席者(委員)	梅田和子会長、篠崎静夫委員、高河原健委員、筋原章博委員
欠席者(委員)	長畑卓志副会長、滋野幸子委員
出席者(学校)	真田校長、福島准校長、岡本事務部長、平田主査、吉田教頭(定時制)、北田教頭(通信制)、森口教頭(通信制)、定時制教職員、通信制教職員
傍聴者	なし
協議資料	スクール・ミッション／ポリシーの変更について
備考	経営計画の進捗確認

議題等(次第順)
1.開会 2.准校長挨拶 3.出席委員紹介 4.説明・協議①定時制の課程 ②通信制の課程 5.校長謝辞 6.閉会
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>【定時制の課程】</p> <p>(説明)</p> <p>①コンピテンシーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中での生徒たちに意識させる力を明確化した。質の高い協働学習を求めている。 <p>②日本語指導の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時に日本語の到達度がバラバラであることからそれぞれに対応できる指導体制を構築中。 ・コースデザインを作成し、生徒たちの日本語能力のレベルに合わせて科目を選択できるようにしている。 <p>③不登校経験生徒が通いやすい学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の課程は入学生約4割は編転入の生徒であるため、単位によっては週3日の登校も可能である。 ・当初に想定していた大きなカリキュラム変更について学校広報にも力を入れている。 <p>(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どういうルートで桃谷高校を選ぶのか。 <p>→同じ学校の生徒が増加。外国籍生徒については知り合い等が入学し、口コミ等で評判が広がっている印象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生野区が日本語指導の特区になっているのもっと連携・協力できれば良い。 ・新たな課題に対してスピーディーに対応できている。例えば校舎の入り口にコンピテンシーのわかりやすい説明や図があったので先生方の丁寧な指導が見えた。 <p>【通信制の課程】</p> <p>(説明)</p> <p>①スクール・ミッション／ポリシーの変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R9年度から修正されるスクール・ミッションに合わせスクール・ポリシー(アドミッション・ポリシー)を見直した。 <p>②学校経営計画の進捗について各分掌より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<教務>次年度、午前スクーリングの導入、単位の半期認定などにより、生徒がより学びやすい環境をつくる。 ・<図書総務>HPの整理により、広報の強化。 ・<生徒保健>生徒会活動の活性化。 ・<進路>進学及び就職状況等進路状況の報告。 <p>(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信制の需要高により、学校説明会も各回定員一杯と聞いている。実施時期や回数等検討してもらいたい。 ・午前スクーリングの導入など改革により段階的にでも様々な課題の解消につなげてもらいたい。 ・充実した行事という強みをいかすために、天候に左右されない行事の在り方など検討してほしい。